

7月20日

## ミニバルーンで交通安全啓発

生きがいセンター手芸サークル（西村幸子代表）は、国道241号線沿いで交通安全啓発活動を実施しました。

同サークルが長年続けている活動で、この日はミニバルーンの縫いぐるみ100個を道行くドライバーに配布して、交通安全の呼びかけを行いました。

みなさんが4月からコツコツ製作してきたミニバルーンは、「可愛いですね。」とドライバーさんから大変好評でした。



## 疾走！ナイタイ高原マウンテンサイクリング

ナイタイ高原牧場の入口ゲートからレストハウスまでの約7キロを駆け上る「第2回上士幌町ナイタイ高原マウンテンサイクリング」（上士幌サイクリング協会などが主催）が、ナイタイ高原牧場で開催されました。

今年は招待選手3名を含む計61名が町内外より参加し、前日からの雨の影響による濃霧の中、高低差350メートルの過酷なヒルクライムコースに挑戦しました。

昨年に続いて同大会に参加した町内の男性は「息ができるほど疲れたけど、ゴール後に食べたソフトクリームがとても美味しいかったです。」と話していました。大会は、招待選手の森哲平選手（北斗病院）が17分14秒の好タイムで優勝しました。

8月5日

## まちづくりアドバイザーに小山忠弘氏を再委嘱

上士幌町まちづくりアドバイザーの小山忠弘氏は、5月30日に2年の任期を迎えたところですが、町では引き続いてアドバイザー就任を要請しました。

町では今後も、生涯学習の専門家である氏からさまざまな助言を頂き、まちづくりに活かしていきます。



8月10日

## 光栄工業株式会社に感謝状



光栄工業株式会社（長屋光男社長）は、地域貢献事業の一環として町民ソフトボール場のバッケネット修理及びスケート小屋周辺の整地をされたことから、8月10日、江波戸明教育長より感謝状が贈られました。



中体連の全道大会へ出場した陸上女子100mハードルの嶋木葵さんと女子ソフトテニス部（部長・近間美穂里さん）の部員8名が、7月24日（火）に役場を訪問し、竹中貢町長より激励を受けました。

# 7・8月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

## 消防団旗が更新されました



8月18日

上士幌消防団のシンボルとして使われてきた消防団旗は、導入から46年が経過し老朽化が著しいことから、このほど新消防団旗が購入されました。8月13日には役場町長室において受け渡し式が行われ、北十勝消防事務組合副管理者の竹中貢町長より、鈴木近彦団長に新団旗が手渡されました。

8月13日

## 夏休み写真特集



▲夏休み子ども料理教室  
(ふれあいプラザ)



▼第1回かみしほろ  
こども夏まつり  
(ふれあい公園)



▲ふるさと発見キャンプ<sup>®</sup>  
(国設ぬかびら野営場)



▼ヒップホップダンス教室  
(スポーツセンター)



目指せ！►  
昆虫博士  
(図書館)

## 地域を変えてく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: バルーンフェスティバル、3年目の正直

記:情報交流推進員 木下 泰明



秋の足音が聞こえてくるこの時期、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。

私は新年度がスタートしてからの約5ヶ月、これまでで一番忙しいのではないか…と思える日々の連続でした。中でも、「上士幌町メガ盛りキャンペーン」や、携帯電話を使ったスタンプラリーイベント「ぬかびら源仙人物語」の企画に携わり、前者は商工会さんと、後者はぬかびら源泉郷旅館組合さんと連携しながら準備を進めました。通常業務をこなしながら、同時に2つの事業に携わるのは大変でしたが、役場以外のみなさんと一緒に仕事をできただけで、自分にとっては一つの収穫となりました。

そして、町を挙げての一一大イベントである

「北海道バルーンフェスティバル」。一昨年は口蹄疫の影響で中止になり、昨年も天候不順で思うような競技が行えなかつたことから、自分と同フェスとの巡り合わせの悪さを実感していたのですが、今年は土曜日と日曜日が好天に恵まれ、念願の「一斉フライト」を観ることが出来ました。

バルーンフェスティバルの開催報告を今月号の巻頭特集でまとめていますので、ぜひご覧ください。



▲バルーンフェスティバルにて

# まちのわたい

## 初の全国で健闘！



8月7日(火)に東京で開催された「第41回全国消防救助大会」に、上士幌消防署としては初めて工藤達人消防士と小野内英人消防士が出場しました。

2名はロープ応用登はん種目(ロープを2人で協力して登はんする競技)に出場し、52チーム中28位と健闘しました。

両隊員は大会出場を振り返り「暑さと緊張の中、自己ベストを更新することが出来ました。今後は技術の向上に努め、消防活動に活かしていきたいと思います。」と話しています。

# 上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲マスコットの作り方を教える家庭部

一緒にマスコット作りをしました。

家庭部は最初緊張していましたが、高齢者の方々がみると、1年生も積極的に話しかけ、とても和気あいあいとしていました。マスコット作りをする前に、自己紹介やテレビ体操、足上げ体操などをしました。自己紹介では何人かの生徒が笑いをっていました。テレビ体操は、高齢者の方も生徒も真剣に取り組んでいました。マスコット作りでは家庭部が作ったフェルトボールなどを使って象やペンギン、カエル、ヒヨコなどを作りました。作っている最中も、家庭部は積極的に教え、高齢者と一緒に完成を喜びました。

その後、簡単な交流会を行い、全員笑顔で終わることが出来ました。

8月3日(金)にふれあい  
プラザで「元気ぴんぴん教室」  
が行われました。

元気ぴんぴん教室は、毎週  
金曜日に、高齢者の方々が積  
極的に外出して頂くため  
に行なわれています。今回の元  
気ぴんぴん教室は、上高家庭  
部が参加し、高齢者の方々と

8月3日  
(金)

頑張った上高家庭部！

文責  
岩間  
輝

川柳

短歌

わが町にアラギの友を迎へたり日射し戻りし夏空の下  
庭木刈る夫のハサミの音冴えて晴れゆく心夏のひと日に  
思い出す東京オリンピックの開催を待ちをりて父の見るなく逝きし  
数冊のノートの整理むづかしく老いて手つかず日々の過ぎゆき  
底ごもる音してあさを洗濯器厨にしづか作動してゐし  
寝もやらず真夜のテレビにただ一人日本の勝ちを見守りゐたるし  
すずらん荘喫茶に楽しい顔が寄り  
手ほどきの通りにうまいそばができる  
せい肉になると分つてまた食べる  
五輪見て睡眠不足で肌荒れる  
おとうさんいつもしごとをありがとう  
流れ星一人ぼっちで見る夜空  
秋の夜にひとりわ光る白鳥座  
虫の音も淋しげに鳴く過疎の町  
墓参り家族の絆里に舞う  
沈黙が続くとまわる風車

わが町にアラギの友を迎へたり日射し戻りし夏空の下  
庭木刈る夫のハサミの音冴えて晴れゆく心夏のひと日に  
思い出す東京オリンピックの開催を待ちをりて父の見るなく逝きし  
数冊のノートの整理むづかしく老いて手つかず日々の過ぎゆき  
底ごもる音してあさを洗濯器厨にしづか作動してゐし  
寝もやらず真夜のテレビにただ一人日本の勝ちを見守りゐたる  
すずらん荘喫茶に楽しい顔が寄り  
手ほどきの通りにうまいそばができる  
せい肉になると分つてまた食べる  
五輪見て睡眠不足で肌荒れる  
おとうさんいつもしごとをありがとう  
流れ星一人ぼっちで見る夜空  
秋の夜にひとりわ光る白鳥座  
虫の音も淋しげに鳴く過疎の町  
墓参り家族の絆里に舞う  
沈黙が続くとまわる風車

平成24年7月末現在の人口

男	2,490人	(先月比-2)
女	2,614人	(先月比-6)
計	5,104人	(先月比-8)
世帯数	2,342世帯	(先月比±0)

寄付

►株式会社森岡建設は、7月17日にアーチ橋の保全資金として金1万円を寄付されました。  
►上士幌小中学校三期久来寿会（中田清成会長）は、7月25日に教育・文化の振興資金として金4万7千円を寄付されました。

-ふるさと納税-

- 高橋和宏さん（京都府、金1万円）
- 新井達生さん（埼玉県、金2万円）
- 真野和彦さん（札幌市、金10万円）
- 木之下誠さん（広島県、金1万円）
- 山岡隆浩さん（広島県、金1万円）
- 玉置友一さん（三重県、金1万円）
- 益山真一さん（東京都、金1万円）
- 清水眞知子さん（埼玉県、金1万円）
- 湯原真一さん（東京都、金5千円）
- 深谷竜大さん（愛知県、金3千円）

上士幌町民憲章

1 心もからだもきたえ、すこやかな  
人になりましょう。  
1 おたがいに立場を理解しあい、楽  
しい家庭をつくりましょう。  
1 きまりを正しく守り、明るい社会  
をつくりましょう。  
1 自然を愛し、美しく住みよいまち  
にそだてましょう。  
1 文化をたかめ、豊かな郷土を築き  
ましょう。

白坂	桜	八重樫	薮	高木	米	小池	鈴木	米	本間	高木	石川
石田		根	木	森		木	森		間	木	
いき子	花	幸	誠	真	由希子	豊樹	博		栄	慶	裕子
	絵	子	守	也	弓						



紙夏のバルーンフェス  
が天候に恵まれ、人々  
に会場からの一斉離  
陸。取材しながら、思わ  
ず見とれてしまいまし  
た。紙ペテランの参加者からは、「こん  
な光景は10年来ないから良い写真撮  
れよ」とはうべをかけられました。(冬  
も天候が良いことを祈ります…A)  
紙例年、盆をすぎると一気に秋を感じ  
るのですが、今年は夜も蒸し暑いで  
す。紙8か月の息子と一緒に寝ている  
のですが、夜中、寝苦しいのか、ぱつた  
んぱつたん動きまわり夜泣きします。  
そんな時は私の胸に耳をあてさせトン  
トンして眠せています。(大きな天災  
がないことを祈るとともに、普段から  
備えをしておこうと思います…K)

広報かみしほろ

かみしほろ 10月号は9月25日(火)発行予定